

SC 南三陸「オンライン交流会 Zoom で交流」開催報告

開催日時：2021年9月25日（土） 14：00～15：10

開催場所：南三陸町各産地より中継

参加者：SC 南三陸サポーター18名

プレーヤー：SC 南三陸事務局/渡辺氏、放牧豚/杉田夫妻、
たみこの海パック/阿部民子さん
牡蠣漁師/菅原さん親子、後藤新太郎さん、後藤太一さん

この間、新型コロナウイルス感染拡大のため、SC 南三陸プレーヤーとサポーターとの交流の機会が減少しており、新たな交流のカタチとして初めてオンラインによる交流会を開催しました。豚の放牧場・たみこの海パック・志津川湾内の繁栄丸船上の3カ所をリレー方式でつなぎ、現地の様子をLIVE 配信しました。

『杉田さんご夫妻が営む豚の放牧場から中継』

一日の主な仕事はエサづくりとのことで、自家製発酵飼料で健康に育つ美味しい豚肉を育てています。杉田さんは、「なぜ放牧しているのか？」の質問に、豚は豚らしく育つのが一番！と話されていました。お話のとおり、広々とした放牧場ではたくさんの豚が自由に元気に走り回っていました。

チャットの声「緑豊かな放牧場、(豚が) のびのびと動き回っていますね。」

「豚たちが桑の木を片付けちゃったんですね、驚きです。」



『海パックの事務所から中継』

震災後「たみこの海パック」を立ち上げたエピソード、南三陸町では新しい漁業をすすめるため国際認証のASCを日本で初めて取得したことなど、たみこさん手作りの紙芝居を使いお話をいただきました。

チャットの声「たみこさんの行動力、すばらしいです。」

「たみこさんの紙芝居素敵です。漁業者の思いの紙芝居もみたいです。」



『志津川湾内の繁栄丸船上より中継』

豊かな海の中で籠に入れて育てられている牡蠣を見せていただきました。また、殻付き牡蠣を剥くコツも実演していただきました。今年は、牡蠣の生育が良く牡蠣オーナーの皆さんには今年もおいしい牡蠣が届けられそうとのことでした。

チャットの声「来年届く牡蠣の様子が見られてよかったです。」

「どんな人がどんなふう、どんな思いで作っているのかが伝わってきました。オンラインでの交流会に参加できてよかったです。ありがとうございました。」



初めてのオンラインによる交流で、山と海からの中継ということもあり、映像や音声途切れるという場面もありましたが、参加いただいた皆さんからはチャットで沢山のメッセージも送っていただき、画面越しではありますがプレーヤーの人柄に触れ、生産の様子を知ることができたことはとても貴重な体験になりました。

以上